☞開会日の 録画配信

☜中日の

録画配信

令和5年 12月定例会

会期 11月30日~12月18日(19日間)

5年度一般会計補正予算をはじめとした21議案の ほか、同意1件、報告2件、諮問1件が提出されまし た。そのほか、請願1件が審議されました。

また、15人が代表・一般質問を行いました。

会期日程 ♥ マークの日は録画配信があります。

11月30日 本会議 開会 🟺 会期の決定、市長の所信表明、市からの議案の提案説明など

本会議 代表質問・一般質問 ᇦ 15人の議員が市政について質問 12月 5日

12月 6日 本会議 一般質問

12月 7日 本会議 一般質問

12月11日 本会議 中日 P.7~12 録画配信の二次元コードを 掲載しています

P.2~3 議案に対する質疑、 議案の委員会付託(審査を各常任委員会へ振り分け)、一部の議案の採決

12月13日 総務委員会・福祉委員会

市民文教委員会·産業建設委員会 12月14日

政策課題調査特別委員会 12月15日

本会議 閉会 12月18日 委員会の委員長報告、

委員長報告に対する質疑、討論、採決

P.4, 13, 14

付託議案・請願・陳情の審査、所管事務調査など

審査では、委員会としての賛否などを決定

☜閉会日の 録画配信



6つの審査を Pick up!

建内

材

を

部

採

取

分

l) T

たところ、

10

豊川市のこんなことが決まり

議案審議の内容は抜粋したものです。全ての議案名及び審議結果は、6ページの議決 状況の一覧またはホームページをご覧ください。

ホームページは こちら

正

算

Α Q

と見込んでいる。

5年6月 況は ょ ると 外 部 0 児 調 18 童 查 力 所 館 結 果 0 0

に

アスベストの含有

事 と

Ź 13 Q Α

くの

費用を要

す 理

スベスト

0)

処

構工事費が約2

割

が判明した。

予 体工事の坪単 整 約 算 佐 回 以 含むものであ 額 0) 脇 備 外 78 L 給 や、 から算出 な 構 に 万 ŧ 円。 水 ど 造 隣 設 0) 改 接 解 駐 外 備 善 価 する 車 構 セン す 体 0) は 場 る 切 工

0)

割 体工

一事費の内訳は

本会議で

4982万8千円追

加

万6千

円を追加します。

費 IJ

・壊すため、廃棄物処理委託料70万円、 4900万円、児童館解体関連移転

質疑がありました

A Q

合では、 く工事費が 策工 アスベスト 一事費 アスベス が 約3 対 策 を 割

除

で 建 所 など 使 物 用 内 されているこ 0) 0) 床や壁 壁 一や花

所 て 検 出 外装のほ 一され た。 一など 場

老 予 朽 化

に

伴い5年度末で閉館

するさわ

き児

事 解

業費

体

撤 童

去 館

工

さわき児童館を取り壊し 老朽化により閉館する ます

〈第72号議案〉 5年度一般 正予算 (第

〈第7号議案〉5年度一般会計補正予算(第6号)

正算

補予

空調設置を進めます。 小中学校の特別教室への



計等委託料を追加します。(6500万円追加 ※小中学校合算) 小学校19校分、中学校7校分の特別教室空調設備設置工事基 本設

本会議で

質疑がありました

Q 空調設備設置のスケジュールは。

Α

合併特例債を活用して設置す できるよう計画している。合 る学校(旧豊川市・旧一宮町の 小中学校)は、7年度中に設置

> 併 できるよう設置する予定だが、 学校は、9年度末までに稼働 :特例債の対象外となる小

早期に設置できるよう進める。 有 利な財源等を考慮しつつ、

〈第9号議案〉5年度一般会計補正予算(第7号)

正算 補予

6月の大雨に係る自動車災害見舞金の

Α

不足分を追加します。

自動車災害見舞金について、不足分を追加します。(1077万円追加) 5年6月2日の大雨により自家用車が被災した方に対して支給する

本会議で

質疑がありました

Q 補正予算で追加する理由と内

Α 見舞金の申 で終了し、申請件数が確定 請 期 間が川 月 30

たため。申請台数は、合計

と協議を進める。

877万円となった。 が30-台、見舞金の総額は3 対する申請が――92台、 493台で、内訳は、 、廃車に 修

〈第9号議案〉5年度一般会計補正予算(第7号)

正 算

補予

商品券の発行事業費補助金を追加します。 物価高騰対応として、 プレミアム付

年6月を想定しています。(2億8千万円追加 ム付商品券発行事業費補助金を追加します。商品券の利用開始は、6 発行総額6億円、額面総額7億8千万円、 市民の消費喚起を促し、市内商店等地域経済の活性化を図るため、 プレミアム率3%のプレミア

本会議で

質疑がありました

Q

電子商品券の導入について、

市民や事業者からの声が反

ため、 商品券は電子と紙の併用で の抑制について、 経費を計上している。電子 ット決済への対応など、紙の システム構築費及びクレジ 想定している。コールセンタ は、電子が7割、紙が3割を 事業を進め、各経費の内訳 映され、市民サービス向上に 商品券に係る経費が大きい 商品券事業ではかからない ーの設置や、電子商品券の 事務費1億円の考え方は。 つながることは理解するが、 今後可能な限り経費 商工会議 Α ことを目指していく。 高騰対応の趣旨等を踏まえ ミアム分の経費に充当する することに期待する。物

Q プレミアム付商品券の電子 恩恵を受ける中で、キャッシ 全ての市民が地域社会にお ル媒体の利用者が一層拡 ュレス決済を含めたデジタ 識している。消費行動を介 につながる契機になると認 しく享受できる環境の構築 いてデジタル化の恩恵を等 その認識と期待する効果は 化が市に何をもたらすのか 消費者、事業者の双方が

務費の抑制に努め、プレ

条例の 一部改正

通院に係る子ども医療費の支給範囲 高校3年生世代までに拡大します。 を

生まで」から「高校3年生世代まで」に拡大します。 (6年4月-日施行) 子育て世代を支援し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るた 通院に係る子ども医療費の支給の範囲について 現在の「中学3年

福祉委員会で

質疑がありました

Q 高校生世代の医療費の財政 規模は、どの程度を見込ん でいるか。

- Α 中学生世代の4年度実績を 見込まれる。 年間約一億2800万円と 世代の通院に係る医療費は 参考に試算すると、高校生
- Q 子ども医療費無料化の拡大 は費用対効果が高いと考え るが、市の考えは。
- Α える。 も医療にかかることができ 年間約2万3千円の負担軽 高校生世代の通院に係る医 る安心感を得られ、市に対 減となる上、子どもがいつで 療費は、子ども一人当たり るため、効果は大きいと考 する信頼の向上にもつなが



意見がありました

てほしい。 源を踏まえ、適切に対応していっ 来の負担にならないか、今後の財 恩恵を受ける子どもたちの将

条例の 定

〈第83号議案〉

御油合葬式墓園条例の制定

御 油合葬式墓園を設置します。

条例を制定します。(6年4月1日施行) :油合葬式墓園を設置するため、 市民の公衆衛生の増進を目的として、

御

産業建設委員会で 質疑がありました

Q Α 合葬墓の形態と収容体数は、

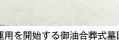
き、 には 合葬墓は、 万体を専 数 慰霊碑型 入れた状態で埋蔵できる。 卜 行き5メー は、 面 や献花台などを備えた 1 地 下 5 球 下 横口メートル、 地 用 0) 0 上 0) 1 高さ3・9メー 状のモニュメン 墓地。 Ŏ の個 ١ 0) 合葬室には 階 布製の袋に 体を安置 ル 0) 建 別安置室 0) へ物で、 地上丨 収容体 奥

Q Α 使用料の考え方は。

料は、 墓園の使用料、 返した数値や、 得費や墓園の建設費を加え 物であることから、 鉄筋コンクリート構造の建 案して算出している。 の使用料などを総合的に勘 た額を埋蔵体数などで割り 維持管理費用等に土地の取 数を5年と見込んだ。 この50年間に要する 先進自治体 既存の市営 耐用年 使用



運用を開始する御油合葬式墓園



替

成

必要性の高い事業を計上している

賛成する。

アムの還元を最大限行い、

ストとなる結果をもたらすこと、また、事務費の抑制によりプレミ

市民の物価高騰対策となることを信じ、

事業の実施に向けて事務費を精査し、本事業が市民ファー

※会派別賛否の状況については、 ページの議決状況の一覧て ご確認ください。

第92号議案

なることを考慮してのことではないかと推察する。

することは、市民や商工者にとってデジタル社会の推進の足掛かりと ついて、1億円の事務費を使って商品券を電子化し、紙と電子を併用

物価高騰対応事業のうち、プレミアム付商品券発行事業費補助金に

している。

計画策定のためのオフィス環境調査など、

必要性の高い事業を計上

海軍工廠被爆50年の平成7年8月7日、

豊川市平和都

市宣言を行い、

本庁舎等整備 6月の大雨

より被災した自動車台数の確定による見舞金の追加、

今回の補正予算では、

物価高騰対応事業が4事業、

一般会計補正予算 (第7号)

原案可決

費補助金について、反対するものである。 格高騰対策事業費などには賛成するが、プレミアム付商品券発行事業 国の物価高騰対応事業である、住民税非課税世帯支援給付金給付事 民間保育所等賄材料費軽減対策支援金、 施設園芸エネルギー価

費の35・7%、 の発行が目的と言っても過言ではない。 **・億8千万円であるのに対し、経費がかかりすぎであり、電子商品券** 商品券を紙と電子の2通りで発行することで、 1億円となり高額である。プレミアムの3%分が 事務経費は事業

に抑えるべきであり、 全ての市民が税金の還元を受けるべきで、そのための経費は最低限 反対する。

対 プレミアム付商品券発行事業費補助金の 事務経費が高額である

反



不採択

請願第3号

国際情勢を見ると、

核兵器が使用されるのではないかと 原爆を体験した日本の立場でしか

危惧される状況で、

時である。

和都市宣言をした市の議会として、

意見書を提出する

約国会議のオブザーバー参加もしない日本政府に、

地球の平和と安全の確保を希求するとしている。

締

平

人類の絶滅につながる核兵器の廃絶を訴

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める 意見書提出を求める請願

【請願者】愛知県原水爆被災者の会(愛友会) 理事長 金本

弘

採択 できないオブザーバー参加をすべきである。

平和都市宣言をした市の議会として 意見書を提出する時である

する段階ではない 現状を勘案すると、現在は、参加・調印・批准

朝鮮の核の脅しを助長する。 実効性がなく、 核保有国が1カ国も参加していない核兵器禁止条約は わが国が参加すれば、 中国 ロシア、

北

准する段階ではないと考える。 国との関係などを勘案すれば、 核兵器廃絶のゴールは、 国の安全保障を他国に委ねているわが国は、 人類で共有しなければならな 現在は、 参加·調印·批 同盟

【請願の要旨】

参加 び関係機関へ提出することを求めます。 に立たねばなりません。 政府は、 完全廃絶につながるものです。 2017年7月に採択された核兵器禁止条約は、 ・調印・批准することを強く求め、 核兵器の使用を許さず、 その証として、 原爆被害を体験した日本の 全面的に禁止させる先頭 核兵器禁止条約に 意見書として国及 核兵器

議会だより No.208



議決状況の一覧

■12月定例会 ○賛成×反対 (請願は、○は採択、×は不採択です。)

未来一とよかわ未来(19) 公明一公明党市議団(3) 共産一日本共産党豊川市議団(2) 清廉一清廉の会(2) 無会派一1人会派(3) ※()内は所属人数で、議長は表決に加わりません。

= +		付託	会派別賛否状況				議決	
	議 案 名 	委員会	未来	公明	共産	清廉	無会派	結果
議案 72	5年度一般会計補正予算(第6号)	_	0	0	×	×	O×	可決
議案 73	5年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	_	0	0	棄権	0	0	可決
議案 74	5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	_	0	0	棄権	0	0	可決
議案 75	5年度水道事業会計補正予算(第3号)	_	0	0	棄権	0	0	可決
議案 76	5年度下水道事業会計補正予算(第3号)	_	0	0	棄権	0	0	可決
議案 77	5年度病院事業会計補正予算(第2号)	_	0	0	棄権	0	0	可決
議案 78	市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例及び市長等の給与に関する条例の一部改正	総務	0	0	×	×	O×	可決
議案 79	職員給与条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	総務	0	0	0	0	0	可決
議案 80	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	_	0	0	棄権	0	0	可決
議案 81	児童館条例の一部改正	福祉	0	0	×	0	O×	可決
議案 82	子ども医療費支給条例の一部改正	福祉	0	0	0	0	0	可決
議案 83	御油合葬式墓園条例の制定	産業 建設	0	0	0	0	0	可決
議案 84	市民部が所管する公の施設に係る指定管理者の指定	市民 文教	0	0	0	0	0	可決
議案 85	市道路線の認定	_	0	0	棄権	0	0	可決
議案 86	土地の取得	_	0	0	棄権	0	0	可決
議案 87	東三河広域連合規約の変更	_	0	0	棄権	0	0	可決
議案 88	損害賠償の額の決定	福祉	0	0	0	0	0	可決
議案 89	損害賠償の額の決定	福祉	0	0	0	0	0	可決
議案 90	国民健康保険条例の一部改正	福祉	0	0	0	0	0	可決
議案 91	手数料条例の一部改正	市民 文教	0	0	×	0	O×	可決
議案 92	5年度一般会計補正予算(第7号)	_	0	0	×	×	O×	可決
請願 3	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出を求 める請願	総務	×	×	0	0	O×	不採択
同意 12	公平委員会の委員の選任同意	_	0	0	0	0	0	同意
報告 17	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告	_	_	_	_	_	_	報告
報告 18	変更契約の締結に関する専決処分の報告	_	_	_	_	_	_	報告
諮問 2	人権擁護委員候補者の推薦	_	0	0	0	0	0	異議ない